

## 希学園 第394回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

| 動画タイトル                            | URL   |
|-----------------------------------|---|
| 第394回公開テスト 小5国語 解説動画(2025年3月9日実施) | <a href="https://vimeo.com/1063785483/7d49950694">https://vimeo.com/1063785483/7d49950694</a> |

1

① イ  
② エ  
④ ウ  
I エ  
II ア  
III イ

3 エ  
4 イ  
5 ア  
6 (記述題)

(2 完答)

7 I 海水  
II 溶け  
III カル

(7 完答)

8 I イ  
II ア  
III エ  
IX イ  
Y ア  
Z ウ

(8 I 完答・順不同)

(8 II 完答・順不同)

10 a 観察  
b 地帯  
c 原料

2

1 a 季節  
b 意地  
c 予想

2 X ぬ  
Y ひ  
Z た  
3 (記述題)  
4 コタロウ

5 ア  
6 I 別人  
II 恥ずかしい

7 イ  
8 (I) ウ  
(II) ア  
9 ダ  
サイ  
ジャ  
ー  
ジ

(11 完答 ⑨は「おっぼ」も可)

10 ウ  
11 ⑨ し  
⑩ っ  
ぽ  
犬

1

殻を成長させるために  
必要なたるため。シウムを撮  
取るすため。

(同意可)

2

自分だけカンナに手作  
り。チヨコをもらえな  
か。たから。

(同意可)

| 配点           |            |
|--------------|------------|
| 1 9・10 2 1・2 | 各2点×12=24点 |
| 1 6 2 3      | 各6点×2=12点  |
| その他          | 各4点×16=64点 |
| 100点         |            |

① (稲垣榮洋「雨が降るって本当に不思議です。えっ? 不思議じゃありませんか?」より)

1 適切な比喩表現を選ぶ問題である。①は「勢い」「スピード」をたとえたもの、②は「ブレーキを掛けてスピードを抑えながら落ちてくる」「ようすをたとえたもの、④は、大きさをたとえたものである。

2 アの「さて」は、話題を変えたり進めたりするとき用いる接続詞、イの「しかし」は、それまでに述べてきた内容と対立するような内容を述べるときに用いる接続詞、ウの「そして」は、それまでの流れにそってさらに話を展開していくときに用いる接続詞、エの「つまり」は、直前で述べた内容を言いかえるときに用いる接続詞である。

3 直前の段落のどの部分をさしているのかをはつきりさせるためには、指示語に続く部分を参考にしなければならぬ。「一度に落ちてしまわないのでしょうか」と続いていることから、スピードに関しては空気の抵抗で何とかなるけれど一度に落ちてきたらやはり危ないのでは……という流れになっていることがわかる。

4 これも適切な比喩表現を選ぶ問題だが、ほぼ慣用表現と言ってよい比喩である。決まり文句なので覚えておこう。

5 「漏斗」を知っていれば簡単だが、葉を横から見た形であって、「水を……根っこに送り届けるように水を流す」形であることが、本文からわかる。

6 カタツムリの話は続く三つの段落に書かれているが、直後の段落の言葉だけでほぼ答えは書けるだろう。「殻」「カルシウム」といった表現は答えに入れたいところである。

7 「なつかしいふるさと」は海のことであり、「味」は、カルシウムを摂取しているのだからカルシウムのことであろう。あとは字数に合う表現を見つければよい。

8 「不思議」については、本文中に何度か出てくるので、丁寧に拾っていけばよい。「すてき」については、そのまま同じ言葉が出てくるわけではないので、「ありがたい」「なつかしい」などに目をつけたい。

9 すべて「陳述の副詞」と呼ばれるもので、アの「もし」は「……たられば」などの表現へと続き、イの「なかなか」、ウの「まったく」は後続部分に打ち消しの表現を伴う。

10 a 「観察」は同音異字「勸」「欽」、似形異字「祭」などと区別しよう。b 「地帯」は「帯」の形に気をつけたい。c 「原料」は「原」の形に気をつけよう。

② (辻貴司「どうってことねえよ」より)

1 a 「季節」は「季」の似形異字、「節」の右下の形に注意する。b 「意地」は、自分の思うことを通そうとする心、c 「予想」は本来、今後のことについての想像を意味する。

2 すべて、単語と単語を組み合わせて一つの単語にしたもの、複合語である。特に意味の難しいものはなかったが、読んでわかるだけでなく、スムーズに出てくるようにしたい。

3 通読時に気にながら読み進めていけば、ミナト自身の言葉から、何があったか読み取れるようになっていく。

4 物語を通読する際は、登場人物名が出てくるたびに注意を払うようにしよう。

5 バレンタインデー(二月十四日)ごろに「早咲き」して見られるものである。イの「アジサイ」は梅雨時、ウの「ヒマワリ」は盛夏、エの「コスモス」は秋の花である。

6 言葉を補うと「声かけなくてよかった」である。直前にあるように、「人違いだったらしい」のでそう思ったのである。「人違い」という結論に至る推論過程は——線④の5行前「でも」以下に書かれている。

7 漢字では「徐に」と書く。「徐行」の「徐」である。

8 不運に不運が重なることをいうことわざである。ミナトからすればカンナにチョコをもらえなかったという不運がはじめにあり、「おれ」からすれば飼い主のミナトの機嫌が悪いという不運がはじめにあったということになる。そこに、「冷たい風」が吹いたのである。

9 「草むらとか探すから」と直前に書かれている。

10 状況の説明としてはイも悪くないが、「ほおをふくらませた」という表情には合わない。

11 「おれ」が、カンナの行く先をたどる際に、カードのにおいをかいでいることに注意しよう。犬がうれしいときにしっぽをふるということも知識として知っておきたい。